



概要 of  
**groups**のウィンドウとダイアログボックス  
Active IQ Unified Manager 9.7

NetApp  
April 17, 2024

# 目次

概要 of groupsのウィンドウとダイアログボックス .....	1
[グループ]ページ .....	1
AddGroupタイアロクホツクス .....	4
EditGroupタイアロクホツクス .....	5
グループの詳細ページ .....	5
AddGroupRuleタイアロクホツクス .....	6
EditGroupRuleタイアロクホツクス .....	7
AddGroupActionタイアロクホツクス .....	8
グループ操作ボリュームしきい値セクション .....	9
EditGroupActionタイアロクホツクス .....	12
ReorderGroupActionsタイアロクホツクス .....	13

# 概要 of groupsのウィンドウとダイアログボックス

[グループ]ページを使用して、すべてのグループを表示および管理できます。ストレージオブジェクトのグループルールやアクションは、グループルールタブおよびグループアクションタブから設定することもできます。

## [グループ]ページ

グループページを使用すると、Unified Managerでグループを作成してストレージオブジェクトを簡単に管理できます。グループとはストレージオブジェクト（クラスタ、ボリューム、およびSVM）の動的な集まりです。この集まりは、グループに対して作成するグループルールで定義されます。

[グループ]ページには、グループ、グループルール、グループアクションを追加、削除、または編集できるタブがあります。オペレータとしてログインすると、ページへの読み取りアクセスのみが許可されます。ストレージ管理者またはアプリケーション管理者としてログインした場合は、各タブで追加、編集、削除の各ボタンを使用できます。

## [グループ] タブ

[グループ]タブには、作成したグループの名前と概要が表示されます。グループの追加、編集、削除などのタスクを実行できます。このタブには、グループに関連付けられているグループルールとグループアクションの数、グループ内のクラスタ、SVM、ボリュームの数も表示されます。

## コマンドボタン

### • \* 追加 \*

グループの追加ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、グループを追加し、グループの名前と概要を指定できます。

グループルールは、ストレージオブジェクトを含めるためにあとでグループに適用することもできます。

### • \* 編集 \*

グループの編集ダイアログボックスが表示され、選択したグループの名前と概要を編集できます。

### • \* 削除 \*

選択したグループを削除します。

## リストビュー

リストビューには、Unified Managerで作成したグループが表形式で表示されます。列のフィルタを使用して、表示するデータをカスタマイズできます。デフォルトでは、リストはグループ名でソートされます。

### • \* 名前 \*

グループの名前が表示されます。

- \* 概要 \*

グループの概要 が表示されます。

- 関連付けられたルール

グループに追加されているルールの数が表示されます。

- 関連付けられているアクション

グループに追加されているグループ操作の数が表示されます。

- 該当するクラスタ

グループに含まれているクラスタの数が表示されます。

- \*該当するSVM \*

グループに含まれているSVMの数が表示されます。

- 該当するボリューム

グループに含まれているボリュームの数が表示されます。

## [グループルール] タブ

グループルールタブには、ストレージオブジェクトを格納するグループに対して作成したグループルールが表示されます。グループルールの追加、編集、削除などのタスクを実行できます。このタブには、グループルールの作成対象であるグループの名前と、ルールが適用されるストレージオブジェクトも表示されます。グループルールを満たしているストレージオブジェクトの数も確認できます。

## コマンドボタン

- \* 追加 \*。

Add Group Ruleダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ストレージオブジェクトのグループルールを作成できます。

- \* 編集 \*。

[Edit Group Rule]ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、以前に設定したグループルールを再設定できます。

- \* 削除 \*

選択したグループルールを削除します。

## リストビュー

リストビューには、特定のストレージオブジェクト（クラスタ、ボリューム、またはSVM）に対して作成したグループルール、および定義したグループルールを満たしているストレージオブジェクトの数が表形式で表示されます。

- \* 名前 \*

ルールの名前が表示されます。

- 関連付けられたグループ

グループルールが定義されているグループの名前が表示されます。

- ターゲットオブジェクトタイプ

グループルールが適用されるストレージオブジェクトのタイプが表示されます。

- 該当するオブジェクト

グループルールに基づいてグループに含まれているストレージオブジェクトの数が表示されます。

## [グループアクション]タブ

[グループアクション]タブには、グループに対して定義したグループアクションの名前とタイプが表示されます。グループ操作の追加、編集、削除、順序変更などのタスクを実行できます。このタブには、グループアクションが適用されるグループの名前も表示されます。

## コマンドボタン

- \* 追加 \*。

アクションの追加（Add Action）ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、ストレージオブジェクトのグループに対してグループアクションを作成できます。たとえば、グループ内のストレージオブジェクトのしきい値レベルを設定できます。

- \* 編集 \*。

アクションの編集ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでは、以前に設定したグループアクションを再設定できます。

- \* 削除 \*

選択したグループ操作を削除します。

- リオーダ

ReorderGroupActionsダイアログボックスを表示して、グループアクションの順序を変更します。

## リストビュー

リストビューには、Unified Managerサーバでグループに対して作成したグループ操作が表形式で表示されます。列のフィルタを使用して、表示するデータをカスタマイズできます。

- ランク

グループ内のストレージオブジェクトに適用されるグループアクションの順序が表示されます。

- \* 名前 \*

グループ操作の名前が表示されます。

- 関連付けられたグループ

グループ操作が定義されているグループの名前が表示されます。

- アクションタイプ

グループ内のストレージオブジェクトで実行できるグループ操作のタイプが表示されます。

グループに対して同じ操作タイプのグループ操作を複数作成することはできません。たとえば、あるグループに対してボリュームしきい値を設定するグループ操作を作成した場合、ただし、同じグループに対してボリュームしきい値を変更する別のグループ操作を作成することはできません。

- \* 概要 \*

グループ操作の概要 が表示されます。

## AddGroupダイアログボックス

グループの追加ダイアログボックスでは、グループルールに基づいてクラスタ、ボリューム、およびSVMを含めるグループを作成できます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- \* 名前 \*

グループの名前を指定します。グループの一意の名前を入力する必要があります。

- \* 概要 \*

グループのわかりやすい概要 を指定します。

## コマンドボタン

コマンドボタンを使用して、新しいグループを追加するか作成をキャンセルできます。

- \* 追加 \*。

新しいグループを作成します。

- \* キャンセル \*

変更を保存せずに、[Add Group]ダイアログボックスを閉じます。

## EditGroupダイアログボックス

グループの編集ダイアログボックスでは、グループの名前と概要を変更できます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- \* グループ名 \*

グループの名前が表示されます。グループ名を変更する際、既存のグループ名は使用できません。

- \* 概要 \*

グループのわかりやすい概要を指定します。グループの現在の概要を変更する場合は、このフィールドを編集できます。

### コマンドボタン

コマンドボタンを使用して、グループに対する変更内容を保存またはキャンセルできます。

- \* 保存 \*

変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

- \* キャンセル \*

変更を保存せずに、Edit Groupダイアログボックスを閉じます。

## グループの詳細ページ

グループの詳細ページでは、選択したグループの詳細を表示できます。選択したグループに関連付けられているグループルールやグループアクションなどの追加情報を表示することもできます。

### コマンドボタン

- グループの表示

グループページに移動できます。

- \* アクション \*

ロールに基づいてグループを編集または削除できます。アプリケーション管理者またはストレージ管理者

のロールが必要です。

- グループルールの管理

このグループのルールを表示するグループルールページに移動できます。

- グループ操作の管理

グループ操作ページに移動し、このグループの操作を表示できます。

## サマリ領域

グループに関する次の詳細を確認できます。

- \* 概要 \*

グループに提供されている概要が表示されます。

- 作成者

グループを作成したユーザの名前が表示されます。

- 作成日

グループが作成された日付が表示されます。

- 関連付けられたルール

グループに対して作成されているすべてのグループルールが表形式で表示されます。各グループルールについて、ルールの名前、関連付けられているオブジェクトタイプ、関連付けられているオブジェクトタイプのストレージオブジェクトの数などの詳細を確認できます。

- 関連付けられているアクション

グループに対して設定されているすべてのグループ操作が表形式で表示されます。それぞれのグループアクションについて、ランク、名前、アクションタイプ、概要などの詳細を確認できます。

## AddGroupRuleダイアログボックス

Add Group Ruleダイアログボックスでは、Unified Managerでグループルールを作成して、ストレージオブジェクトを動的にグループ化できます。グループアクションは、あとで設定して適用することができます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- \* 名前 \*

グループルールの名前を示します。

- ターゲットオブジェクトタイプ



グループに含めるストレージオブジェクトのタイプを指定します。

- \* グループ \*

グループルールを作成するグループの名前を指定します。

- 条件

グループに含めるストレージオブジェクトを決定する条件を指定します。

- 条件グループ

グループに含めるストレージオブジェクトを定義した1つ以上の条件を含む条件グループを指定します。

## コマンドボタン

- 保存して追加

グループルールを追加します。ダイアログボックスを閉じずに別のグループルールを追加できます。

- \* 追加 \*。

グループルールを追加して、[Add Group Rule]ダイアログボックスを閉じます。

- \* キャンセル \*

変更内容をキャンセルして[Add Group Rule]ダイアログボックスを閉じます。

- 条件の追加

グループルールを定義する条件を追加します。

- 条件グループを追加

グループルールの条件を定義する条件グループを追加します。

## EditGroupRuleダイアログボックス

作成したグループルールを編集して、グループに含めることができるストレージオブジェクトの数を増やすことができます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- ルール名

ルールの名前が表示されます。

- ターゲットオブジェクトタイプ

選択したグループに追加するストレージオブジェクトが表示されます。オブジェクトタイプは変更できま

せん。

- 関連付けられたグループ

関連付けられているグループが表示されます。グループルールには別のグループを選択できます。

- 状態

選択したグループの条件のリストが表示されます。条件を編集できます。選択したグループで、変更内容に基づいてストレージオブジェクトが削除または追加されます。

## コマンドボタン

- \* 保存 \*

変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

- \* キャンセル \*

変更を保存せずにEdit Group Ruleダイアログボックスを閉じます。

## AddGroupActionダイアログボックス

Add Group Actionダイアログボックスでは、選択したグループのストレージオブジェクトに適用できるグループアクションを設定できます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- \* 名前 \*

アクションの名前を指定します。

- \* 概要 \*

アクションの概要 を指定します。

- \* グループ \*

アクションが設定されているグループを指定します。

- アクションタイプ

設定するアクションのタイプを指定します。選択したアクションタイプに基づいて、グループアクションの追加（Add Group Action）ダイアログボックスが展開され、必要な値を指定してグループアクションを設定できます。

Unified Managerで現在サポートされているアクションタイプはボリュームしきい値のみです。

## コマンドボタン

- \* 追加 \*。

新しいアクションを追加してダイアログボックスを閉じます。

- \* キャンセル \*

変更を保存せずにAdd Group Actionダイアログボックスを閉じます。

## グループ操作ボリュームしきい値セクション

グループ操作ボリュームしきい値セクションでは、ボリュームについてのグループレベルの健全性しきい値を設定できます。これらのしきい値はグループ内のすべてのボリュームに適用されます。グループレベルでボリュームの健全性しきい値が設定されている場合、グローバルな健全性しきい値の値は適用されません。

グループ操作の設定では、次の項目についてボリューム健全性しきい値を設定できます。

- 容量
- 容量増加
- qtreeクォータ
- Snapshot コピー
- inode

これらのうちボリューム健全性しきい値が設定されていないカテゴリについて、グローバルなデフォルト値が使用されます。次の項目について健全性しきい値を設定できます。

- 容量
- 容量増加
- qtreeクォータ
- Snapshot コピー
- inode

## 容量セクション

ボリュームの容量について、次の健全性しきい値条件を設定できます。

- スペースがほぼフル

ボリュームがほぼフルであるとみなす割合を示します。

- デフォルト値：80%

管理サーバでイベントが生成されるように、このしきい値の値は「ボリュームがフル」のしきい値の値よりも小さくする必要があります。

- 生成されるイベント：ボリュームがほぼフルです
- イベントの重大度：警告
- スペースがフル

ボリュームがフルであるとみなす割合を示します。

- デフォルト値：90%
- 生成されるイベント：ボリュームがフルです
- イベントの重大度：エラー
- オーバーコミット

ボリュームがオーバーコミットされているとみなす割合を示します。

- デフォルト値は100%です
- 生成されるイベント：Volume Overcommitted
- イベントの重大度：エラー

## 成長セクション

ボリュームの増加率について、次の健全性しきい値条件を設定できます。

- 増加率

ボリュームの増加率が正常であるとみなす割合を示します。このしきい値を超えると、「ボリュームの増加率-異常」イベントが生成されます。

- デフォルト値：1%
- 生成されるイベント：ボリュームの増加率-異常
- イベントの重大度：警告

- 増加率係数

ボリュームの増加率の標準偏差に適用される係数を示します。増加率が係数適用後の標準偏差を超えると、「ボリュームの増加率が異常」イベントが生成されます。

アグリゲートが増加率の変化による影響を受けやすい場合は、増加率係数の値を小さくします。増加率係数の範囲は1~5です。

- デフォルト値：2

## qtreeクォータセクション

ボリュームのクォータについて、次の健全性しきい値条件を設定できます。

- ほぼオーバーコミット

ボリュームのqtreeクォータがほぼオーバーコミットされているとみなす割合を示します。

- デフォルト値：95%
- 生成されるイベント：ボリュームのqtreeクォータがほぼオーバーコミットされています
- イベントの重大度：警告
- オーバーコミット

ボリュームのqtreeクォータがオーバーコミットされているとみなす割合を示します。

- デフォルト値は100%です
- 生成されるイベント：ボリュームのqtreeクォータがオーバーコミット
- イベントの重大度：エラー

## Snapshotコピーセクション

ボリューム内のSnapshotコピーについて、次の健全性しきい値条件を設定できます。

- \* Snapshotリザーブがフル\*

Snapshotコピー用にリザーブされたスペースがフルであるとみなす割合を示します。

- デフォルト値：90%
- 生成されるイベント：ボリュームのSnapshotリザーブがフルです
- イベントの重大度：エラー

- フルまでの日数

Snapshotコピー用にリザーブされたスペースがフルに達するまでの残り日数を示します。

- デフォルト値：7
- 生成されるイベント：ボリュームのSnapshotリザーブのフルまでの日数
- イベントの重大度：エラー

- カウント

ボリュームのSnapshotコピーが多すぎるとみなす数を示します。

- デフォルト値：250
- 生成されるイベント：Snapshotコピー数の上限を超えています
- イベントの重大度：エラー

## inodeセクション

inodeについて、次の健全性しきい値条件を設定できます。

- ほぼフル

ボリュームのinodeがほぼ使用されているとみなす割合を示します。

- デフォルト値：80%
- 生成されるイベント：inodeがほぼフルです
- イベントの重大度：警告
- フル

ボリュームのinodeがすべて使用されているとみなす割合を示します。

- デフォルト値：90%
- 生成されるイベント：inodeがフルです
- イベントの重大度：エラー

## EditGroupActionダイアログボックス

グループに対して作成したグループアクションは、グループアクションの編集ダイアログボックスを使用して編集できます。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- アクション名

グループ操作の名前が表示されます。

- \* 概要 \*

グループ操作の概要が表示されます。

- \* グループ \*

選択したグループの名前が表示されます。

- アクションタイプ

グループ操作のタイプが表示されます。アクションタイプは変更できません。ただし、グループ操作の設定に使用したパラメータは変更できます。

## コマンドボタン

- \* 保存 \*

グループ操作に対する変更内容を保存します。

- \* キャンセル \*

変更を保存せずにEdit Group Actionダイアログボックスを閉じます。

# ReorderGroupActionsタイアロクホツクス

ReorderGroupActionsタイアロクホツクスを使用すると、1つ以上のグループアクションのランクを変更できます。グループアクションのランクは、グリッドでのグループアクションの位置で決まります。

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

- ランク

グループ内のストレージオブジェクトに適用されるグループアクションの順序を指定します。

- \* 名前 \*

グループアクションの名前を指定します。

- アクションタイプ

グループ内のストレージオブジェクトで実行できる操作のタイプを指定します。

- 関連付けられたグループ

グループアクションが定義されているグループの名前を指定します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。